八女の土で器を作って楽しもう

～資源を活かして原料から作ってみる会～

１．団体について

◯設立目的

　モノのあり方を再構築し、完成までの流れを実体験することにより、これからの社会でのモノづくりについて、またその作ったモノを活かす方法について考察し提案していくことを目的とします。

【構成員　５名】　【設立年月　2020 年４月１日】

◯活動実績

　「八女の土で器を作ってみよう」という事業で、原料を入手するところから、器を焼いてお茶会の茶碗として使うプログラムを２年間行いました。

（資源を活かして原料から作ってみる会）

２．活動の内容

◯目的

　八女の魅力を器つくりを通して体験してもらうモデルプログラムづくり。八女で自然から収穫した材料により器を焼き、自作の器で八女茶を楽しむプログラムです。このプログラムを実行することにより、古代から続いてきた歴史と文化遺産とそれを支えてきた原料と技術を繋げて分かりやすく八女の文化を発信していきます。

◯活動の概要

　八女の焼物を深掘りし、原土から燃料まで、身近で収穫できる材料のみで器つくりを体験する。

（資源を活かして原料から作ってみる会）

◯活動のスケジュール

日程		活動内容	参加人数
１日目	**土堀り**	粘土層がある場所に行って土を掘る	６名
２日目	**器つくり**	掘った粘土から大きな石などを取り除き、足で踏んだり練ったりして成形しやすい粘土にする。 お茶に因んだ器を作る（抹茶碗など）	
３日目	**窯づくり**	楽焼用の窯を作る	
４日目	**楽焼き**	１日目に作った器に釉薬をかけて焼く	
５日目	**お茶会**	焼きあがった自作の器を使ってお茶会をする	６３名

（資源を活かして原料から作ってみる会）

◯活動の様子__土堀り・器作り　2022/8/27～28

（資源を活かして原料から作ってみる会）

◯活動の様子＿窯つくり・楽焼き　2022/9/17～18

（資源を活かして原料から作ってみる会）

◯活動の様子＿お茶会　2023/2/19～20

（資源を活かして原料から作ってみる会）

３．活動の成果

一年を通じて５回のプログラムでしたが、第一段目の企画である「土を掘って作る焼く」までの企画は、参加費が高かったためか企画内容が分かりにくかったためか参加人数が目標に達しませんでした。

最後の「お茶会」ではお抹茶とは別に耕作放棄されたお茶畑の茶の木で会場に小さなお茶畑を作り、一人 20 枚ほどのお茶摘みをしてもらい、その茶葉を釜で炒って釜炒り茶を楽しんで頂きました。

（資源を活かして原料から作ってみる会）

３．活動の成果

お茶会は２月で新茶ではなかったものの、しっかりお茶の風味を楽しめて、「お茶とは何か？」という根本的な疑問に向き合えることが出来たと思います。

お茶会の参加者からは「八女でこんなに贅沢な時間を味わえるなんて」という感想を複数頂き、時間制限を設けないゆっくりとした空間でのお茶会を楽しんで頂けたようです。

（資源を活かして原料から作ってみる会）

４．今後に向けて

　器づくりについては参加ハードルが高かったようなので、この企画のメインを最後のお茶会にポイントをおいて、沢山の人に八女茶の楽しみ方の一案を提供できるようにしていきたいと考えています。

（資源を活かして原料から作ってみる会）